CAMEDIA デジタルカメラ

OLYMPUS

# C-40ZOOM

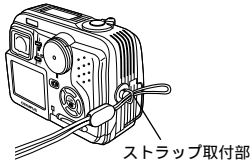
## クイックスタートガイド

このたびは、オリンパス製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。本書は、すぐに撮影にとりかかりたい方のために、撮影の基本操作や画像をパソコンに取り込む方法などを分かりやすく説明した簡単ガイドです。詳しくは、別冊の取扱説明書をお読みください。

### 箱の中身を確認する

- □ デジタルカメラ（本体）
- □ カメラケース
- □ ストラップ
- □ CR-V3リチウム電池パックLB-01（1個）
- □ USBケーブル
- □ AVケーブル
- □ ソフトウェアCD（USB ドライバなど収録）
- □ 取扱説明書
- ☑ クイックスタートガイド（本書）
- □ Windows 98用USBドライバインストールガイド
- □ 保証書・ご愛用者登録ハガキ
- □ リモコン
- □ リモコン取扱説明書
- □ 16MBスマートメディア
- □ スマートメディア用静電気防止ケース
- □ スマートメディア用ラベル（2枚）
- □ スマートメディア用ライトプロテクトシール（4枚）
- □ スマートメディア取扱説明書

## ストラップを取り付ける

**1** ストラップをストラップ取付部の金具にとおします。

**2** ストラップ取付部にとおしたストラップに、ストラップのもう一方をくぐらせて引っ張ります。
ストラップがゆるんで、ぬけないようにします。

## 電池を入れる

**1**

カメラの電源が入っていないこと（レンズバリアが閉じている、液晶モニタが消灯している）を確認します。

**2 3 4** 電池カバーの上にある電池カバーロックを押しながら、矢印（◁）の方向へスライドさせると開きます。

**5**

●電池の方向を間違わないように挿入してください。

**6 7** 電池カバーで電池を押さえながら閉じて、カバーの矢印の刻印と逆方向へスライドさせます。

- ●カバーの端を押すと、カバーが閉まりにくくなります。
- ●正しく閉じられると、電池カバーは固定されます。

## カードを入れる/取り出す

**1**

カメラの電源が入っていないこと（レンズバリアが閉じている、液晶モニタが消灯している）を確認します。

**2** カードカバーを開けます。

**3 カードを入れる**

接触面（コンタクトエリア、金色）をレンズ側にして、カードを挿入口に示すラインまでしっかりと押し込みます。

- カードが斜めに入らないようにまっすぐに押し込みます。
- カードを表裏逆にしたり、入れる向きを逆にして押し込むと、抜けなくなることがあります。
- カードがきちんと奥まで入っていないと、カードカバーは閉じません。無理に閉じると、カードを傷めます。

**3 カードを取り出す**

カードをつまんで引き抜きます。

**4** カードカバーを閉めます。

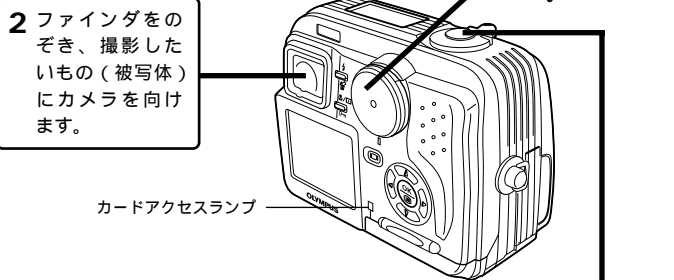
**注意**

● カメラ作動中やパソコンとの通信中には、絶対にカードを出し入れしたり、電池を取り出したりしないでください。カード内のデータが破壊されることがあります。

## 静止画を撮る

**AUTO** フルオートモード

**1** モードダイヤルを AUTO にして、レンズバリアを開きます。
- カメラの電源が入り、レンズがせり出してきます。

**2** ファインダをのぞき、撮影したいもの（被写体）にカメラを向けます。

**3** ピントを合わせるため、シャッターボタンを軽く押します。（半押し）
- ピントが合うと、緑ランプが点灯します。

**4** 撮影するには、シャッターボタンを半押しした状態から、さらにボタンを静かに押します。（全押し）
- 緑ランプとカードアクセスランプが点滅し、カードへの記録が始まります。カードアクセスランプが点滅している間は、絶対にカードを出し入れしたり、電池を取り出したりしないでください。

● **カメラの電源を切るには**
レンズバリアをレンズのところまでゆっくり閉じると、出ているレンズが自動的に元の位置に戻ります。その後、レンズバリアを完全に閉じてください。

## 静止画を見る

簡単再生

**1** レンズバリアを閉いた状態で、（液晶モニタ）ボタンをすばやく2回続けて押します。
- 液晶モニタが点灯し、撮影した画像が表示されます。

**2** 十字ボタンを使って、見たい画像を表示させます。
- のついた画像はムービーコマです。

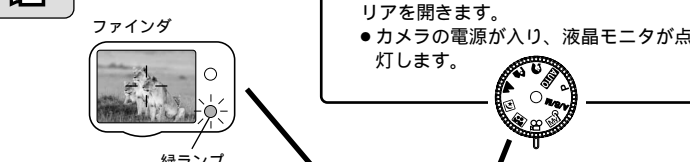
ズームレバーを使うと、以下のようなことができます。
T： 画像の拡大表示
W： 複数の画像を一度に表示

**3** 撮影モードに戻るには、シャッターボタンを半押しします。

## ムービーを撮る

ムービーモード

**1** モードダイヤルを にして、レンズバリアを開きます。
- カメラの電源が入り、液晶モニタが点灯します。

**2** カメラを被写体に向けて、液晶モニタを見ながら構図を決めます。

**3** シャッターボタンを半押しします。
- ファインダ横の緑ランプが点灯します。

**4** シャッターボタンを全押しして、撮影を始めます。
- ムービー撮影中は、オレンジランプが点灯します。
- ムービー撮影中は、常にピントは合っています。
- ムービー録音機能がオンに設定されていると、音声も画像と同時に記録されます。

**5** 再度シャッターボタンを全押しして、撮影を終了します。
- カードアクセスランプが点滅して、カードへの記録がはじまります。
- 表示されている撮影可能時間まで撮影を続けると、自動的に撮影を終了し、カードへの記録を始めます。

## ムービーを見る

簡単再生

**1** ムービー再生したいコマ（ マークのついた画像）を表示します。→「静止画を見る」の手順1、2参照

**2** を押して、メニューを表示します。

**3** 十字ボタンの△を押して、「ムービープレイ」を選択します。
- カードアクセスランプが点滅して、カードからカメラへの画像の読み出しが行われます。

**4** △または▽を押して、「ムービープレイ」画面で「ムービー再生」を選択します。この画面から抜けるには、◁を押します。

**5** ボタンを押して、再生を開始します。
- 再生が終わると、ムービーの最初に戻ります。
- 再生終了後に、再び を押すと「ムービー再生」画面が表示されます。ムービー再生モードから抜けるには、△▽を押して「中止」を選択し、 を押します。

**6** 撮影モードに戻るには、シャッターボタンを半押しします。
- 液晶モニタが消灯します。

## 画像を消去する

1コマ消去

**1** 消したい画像を表示します。→「静止画を見る」の手順1、2参照

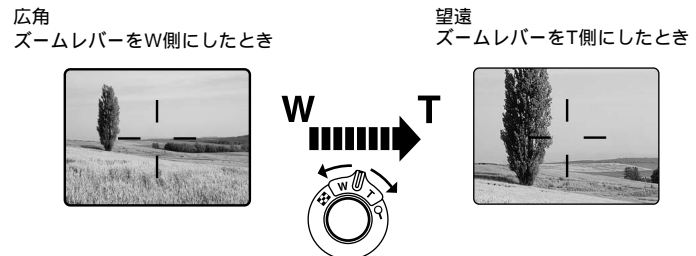
**2** （消去ボタン）を押します。

**3**「1コマ消去」画面が表示されたら、△を押して「消去」を選択します。
- 消去をやめたいときは、▽を押して「中止」を選択し、 を押すか ボタンを押します。

**4** を押して、消去を実行します。

## ズームを使う

**広角**
ズームレバーをW側にしたとき

**望遠**
ズームレバーをT側にしたとき

● オリンパスホームページ　http://www.olympus.co.jp
● 製品に関するお問い合わせ（カスタマーサポートセンター）
Tel: 0426 (42) 7499 [東京]

1AG6P1P1135 ーー　VT317001

# ボタンとダイヤル

## レンズバリア
電源のオン/オフ

## ズームレバー
**撮影時**　：ズームイン/ズームアウト
**再生時**　：撮影した画像を一画面に複数表示（インデックス再生）/ 再生中の画像を拡大表示（クローズアップ再生）
**プリント予約時**　：トリミングサイズの設定

## シャッターボタン
半押しでピント合わせ、全押しで撮影

## ビューファインダ
撮影時に被写体を表示

## マクロ/スポットボタン
**撮影時**　：マクロモードと測光パターンの切り替え
　マクロ（近距離）撮影
　広角側　0.1m-0.8m
　望遠側　0.25m-0.8m
　スポット測光　ファインダのターゲットマーク内のみを測光
　（通常は、構図全体の明るさを測光し、適正露出を検出するデジタルESP測光）
　マクロ撮影中にスポット測光
**再生時**　：再生中の画像を書き込み禁止（プロテクト）に設定

## フラッシュモードボタン
**撮影時**　：フラッシュ発光パターンの切り替え
　（通常は、暗いときや逆光のときに自動的に発光）
　赤目を軽減
　フラッシュを強制的に発光
　SLOW　遅いシャッター速度でフラッシュを発光
　フラッシュの発光禁止
**再生時**　：画像を一枚ずつ消去

## モードダイヤル
AUTO フルオート　：シャッターボタンを押すだけのシンプルなオート撮影
ポートレート　：背景をぼかし被写体である人物を強調
記念写真　：人物と背景の両方にピントを合わせて撮影
風景　：風景を撮るのに最適、青や緑もよりきれいに再現
夜景　：通常より遅いシャッター速度で撮影
セルフポートレート　：撮影者がカメラを持って、自分自身を撮影
P プログラムオート　：カメラが自動的に最適な露出を決定
A/S/M 絞り優先/シャッター優先/マニュアル撮影　：絞り値やシャッター速度を自分で設定して撮影
マイモード　：モードダイヤルをにしたときに、お好みで設定したカメラ機能で撮影
ムービー　：ムービー（動画）の撮影

## OK/メニューボタン
**メニュー**　：メニュー画面を表示、設定内容を保存または実行
**撮影時**　：1秒以上の長押しでマニュアルフォーカス

## 液晶モニタ
**撮影時**　：被写体を表示
**再生時**　：カードに記録されている画像を表示

## 十字ボタン
**メニュー**　：メニュー機能/項目の選択または調整
**撮影時**　：絞り値、シャッタースピード、露出補正、マニュアルフォーカスの設定
**再生時**　：再生画像の選択

## 液晶モニタボタン
**撮影時**　：液晶モニタのオン/オフ、2回の早押しで撮影直後の画像を素早くチェック
＊レンズバリアを閉じたままでを押すと、電源が入り再生モードになります。再度押すと電源が切れます。

# メニューで操作する機能

## メニュー画面のながれ

**1**

**ご注意：**モードにより、トップメニューの表示内容、設定できるメニュー機能が異なります（詳しくは取扱説明書をご覧ください）。

**2**

で選択

**トップメニュー［Pモードのとき］**

セルフタイマー/リモコン
画質モード
モードメニュー
ホワイトバランス

「Pモード」、「A／S／Mモード」では、ここによく使うメニュー機能を設定することができます（ショートカット設定）。

**3**

で選択

**トップメニューで「モードメニュー」を選択した場合**

**4**

撮　撮影メニューへ
画　画像メニューへ
カ　カードメニューへ
設　設定メニューへ

## 撮影時のメニュー機能

### 撮影メニュー

| | |
|---|---|
| セルフタイマー／リモコン | セルフタイマー／リモコンを使って撮影 |
| ドライブ | 撮影方法を連写モード、オートブラケット撮影の中から選択 |
| ISO感度 | 撮影条件に合わせて「オート」、「100」、「200」、「400」の中から ISO感度を選択 |
| P/A/S/Mモード | モードダイヤルがA/S/Mのときの撮影モードをA(絞り優先オート)、S（シャッター優先オート)、M（マニュアルモード）の中から選択。のときは、P/A/S/Mから選択。 |
| フラッシュ補正 | 被写体に合わせてフラッシュの発光量を増減 |
| スローシンクロ | 遅いシャッタースピードでフラッシュを発光。「先幕効果」、「赤目先幕」、「後幕効果」の中から選択 |
| ノイズリダクション | 長時間露光時に、画像のノイズを軽減 |
| デジタルズーム | 光学2.8倍ズームとの組み合わせで、7倍ズーム相当（35mmカメラ換算35〜245mm) の撮影が可能 |
| フルタイムAF | シャッターボタンを半押ししなくても常に被写体にピントを合わせが可能 |
| スチル録音 | 静止画撮影で撮影後に約4秒間の音声録音が可能 |
| ムービー録音 | ムービー撮影時に音声も同時に録音 |
| パノラマ | オリンパス標準スマートメディア（付属）のパノラマ機能を使って、パノラマ合成画像を作成（＊合成には専用のソフトウェアCAMEDIA Masterが必要です。) |
| ファンクション撮影 | モノクロやセピアカラー、白板（黒板）に書いた黒字（白字）を強調した写真撮影が可能 |

### 画像メニュー

| | |
|---|---|
| 画質モード | 撮影する画像の画質を「TIFF」、「SHQ」、「HQ」、「SQ1」、「SQ2」の中から選択 |
| ホワイトバランス | 光源の色温度に合わせてホワイトバランスを「オート」、「プリセット（晴天/曇天/電球/蛍光灯)」、「ワンタッチ」の中から選択 |
| WB補正 | ホワイトバランスで表現しきれない微妙な色温度を手動で補正 |
| シャープネス | 画像の鮮鋭度を調節 |
| コントラスト | 画像のコントラスト(階調)を調節 |
| 彩度 | 色あいを変化させずに、色の濃さを調節 |

### カードメニュー

| | |
|---|---|
| カードセットアップ | カードをフォーマット（＊カード内のすべてのデータは失われます。) |

### 設定メニュー

| | |
|---|---|
| 設定クリア | カメラに設定した機能を電源を切っても保持するかどうかを選択 |
| ビープ音 | カメラの操作音や警告音をオフにしたり、その大きさを設定 |
| シャッター音 | 撮影時のシャッターの音の種類と音量を設定 |
| PW ON設定 | 電源を入れたときに、出力される起動音や液晶モニタに表示されるスタートアップ画面を選択 |
| PW OFF設定 | 電源を切ったときに、出力される終了音や液晶モニタに表示されるシャットダウン画面を選択 |
| レックビュー | カードに記録中の画像の確認表示をするかどうか「オン」、「オフ」で選択 |
| マイモード設定 | 各種機能の設定を登録すると、モードにしたときに、その設定で撮影することが可能 |
| スリープ時間 | カメラがスリープモード（待機状態）に入るまでの時間を設定 |
| ファイル名メモリ | 記録した画像につけるファイル名とフォルダ名を「リセット(1から順に)」、「オート(前のカードから連番で)」より選択 |
| ピクセルマッピング | CCDと画像処理の回路を自動的にチェック |
| モニタ調整 | 液晶モニタの明るさを調節 |
| 日時設定 | 日付と時間を設定 |
| m/ft設定 | マニュアルフォーカス時に表示する長さの単位をメートル単位／フィート単位で選択 |
| ショートカット設定 | トップメニューに設定するメニュー機能を選択 |

## 再生時のメニュー機能

### 自動再生［静止画のみ］
カードに記録されている静止画像を連続して自動表示（スライドショー）

### プリント予約［静止画のみ］
撮影した画像をプリントできるように、カードに必要な情報を記憶させます。

### ムービープレイ［動画のみ］

| | |
|---|---|
| ムービー再生 | 動画を再生 |
| インデックス作成 | 撮影した動画を9分割画面で表示するインデックス画像を作成 |
| ムービー編集 | 撮影した画像を編集 |

### 情報表示
記録画像の撮影情報を（ISO、ホワイトバランス、など）をすべて表示するか、最小限にするかを「オン」、「オフ」で選択

### 再生メニュー［静止画のみ］

| | |
|---|---|
| 録音 | 撮影済みの画像に音声を追加（アフレコ） |

### カードメニュー

| | |
|---|---|
| カードセットアップ | カードをフォーマット(＊カード内のすべてのデータは失われます。)、すべての画像を一度に消去（全コマ消去） |

### 設定メニュー

| | |
|---|---|
| 設定クリア | カメラに設定した機能を電源を切っても保持するかどうかを で選択 |
| 再生音量 | 再生時の音量や、「PW ON設定」、「PW OFF設定」で再生される音声の音量を設定 |
| ビープ音 | カメラの操作音や警告音をオフにしたり、その大きさを設定 |
| PW ON設定 | 電源を入れたときに、出力される起動音や液晶モニタに表示されるスタートアップ画面を選択 |
| PW OFF設定 | 電源を切ったときに、出力される終了音や液晶モニタに表示されるシャットダウン画面を選択 |
| 画面登録 | 「PW ON設定」・「PW OFF設定」で選択する画面に、自分で撮影した画面を使用できるように登録します。 |
| モニタ調整 | 液晶モニタの明るさを調節 |
| 日時設定 | 日付と時間を設定 |
| インデックス表示 | インデックス再生時の画面分割数を「4分割」、「9分割」、「16分割」の中から選択 |